PDCAチェックシート

実施年度	令和 ６ 年度

事務事業名	キャリア教育推進事業	担当課名	教育総務課

【Plan】計画

■目的

キャリア教育とは、国では「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」と定義している。

小中一貫校の特徴を活かして、９年間を見通して、各校が目指す児童生徒像の実現に向けて、小中が連携し発達段階に応じて系統的に取り組んでいるキャリア教育を支援する。

児童生徒は、日常生活における成功も失敗も含めて、定期的に自分自身のことを振り返る機会を設け、体験や学習したことの振り返りのツールとしてキャリア・パスポートを活用する。

■成果指標（アウトカム・KPI）※

【目標値】

キャリア教育活動等に参加することで、児童生徒に体験学習と振り返りの機会を提供する。

【達成値（R6実績値）】

・じもと・しごと発見フェア参加者数
中学校８年生　190名

・仕事探究の特別課外授業参加者数
三本松高等学校普通科１年生　86名

【Do】実施・実行

■具体的取組

・じもと・しごと発見フェアへの参加

市立中学校８年生が、地元企業の魅力を知り、将来の選択肢に役立てるため「じもと・しごと発見フェア」に参加した。

・職場体験

市立中学校８年生が、主体的に自ら希望する地元企業を訪問して職場体験を実施した。

・仕事探究の特別課外授業

県立三本松高等学校の普通科１年生が、「総合的な探究の時間」の特別課外授業で、11テーマについて、市役所の若手職員とディスカッションし、課題解決への取組を実践事例を通して学んだ。

■インプット（投入金額等）

事業費等

■アウトプット（数量等）

実施回数等

・じもと・しごと発見フェア参加者数
中学校８年生　190名

・仕事探究の特別課外授業参加者数
三本松高等学校普通科１年生　86名

【Check】点検・評価

■成果指標の具体的検証結果

（インプット・アウトプットに対するアウトカムの達成状況はどうか、また、達成できていない場合の原因は何なのか等の検証結果を具体的に記載）

・じもと・しごと発見フェア

市立中学校８年生を対象に、地元企業の魅力を知り将来の選択肢に役立ててもらうため、市が開催する「じもと・しごと発見フェア」に参加した。

・職場体験

市立中学校８年生が、主体的に自ら希望する地元企業を訪問して職場体験を計画どおり実施した。

・仕事探究の特別課外授業

県立三本松高等学校と東かがわ市が協力し、さらに地域を盛り上げ、魅力ある教育活動を展開できるよう取組を進めるため、三本松高等学校の普通科１年生が、「総合的な探究の時間」の特別課外授業で、人事、デジタル、官民連携、情報発信、農水振興、地域づくり、観光交流等の11テーマについて、市役所の若手職員から市の取組や仕事の楽しさ、今後の展望について説明を受け、ディスカッションを通して大人がどのように課題解決に取組んでいるかを、実践事例を通して学べたことで、高校生一人一人の行政に対する理解を深める活動を実施した。

【Action】処置・改善

■検証結果を受けての具体的対応

・じもと・しごと発見フェア

継続して、市立中学校８年生を対象に将来の選択肢に役立ててもらうため、市が開催する「じもと・しごと発見フェア」に参加し、地元企業の魅力を知る機会を設けるとともに、生徒が主体的に希望する地元企業を訪問して職地元企業で働く人と直接話ができる職場体験を実施する。

・仕事探究の特別課外授業

継続して、三本松高等学校で「総合的な探究の時間」の特別課外授業で、普通科１年生と市役所の若手職員が、市の取り組みや仕事の楽しさ、今後の展望を説明した上で、大人がどのように課題解決に取り組んでいるかを、実践事例を通して学ぶことで、高校生一人一人の行政に対する理解を深める活動を実施する。

■評価

現状維持

※KPI … 重要業績評価指標。Key Performance Indicatorの略。アウトカムの達成度を具体的に示す指標（数値）をいう。